

〔熊谷駅を中心とした市街地を望む〕

さまざまな都市機能が集まる20万都市の中核エリア。中央に見える熊谷駅にはJR上越・北陸新幹線、JR高崎線、秩父鉄道のルートがつながり、ティアラ21、星川シンボルロードも見られます。右手には国道17号線や市役所、中央公園があり、左手奥には荒川と荒川大橋も。市民の憩いの場と市街地が隣接しているのが分かります。



熊谷歴史物語

熊谷寺と熊谷県

明治6年6月、入間県、群馬県が廃止されて熊谷県が設置されました。熊谷県は、現在の埼玉県と群馬県の全体を含む広い範囲で、県庁は熊谷寺に置かれました。初代県令(現在の県知事)には河瀬秀治が任命され、二代目の榎取素彦が引き継ぎましたが、広大な領域の行政管理が難しく、約3年間の短命で終わりました。



熊谷歴史物語

熊谷の養蚕と片倉工業

江戸時代半ば、熊谷では生糸の原料となる繭(まゆ)の生産が拡大。田園地帯の多くに桑畑ができ、養蚕農家が増えました。近代になると製糸業も発展し、世界遺産「富岡製糸場」で生産を続けた片倉工業の工場もありました。



熊谷歴史物語

熊谷堤

16世紀後半、鉢形城主の北条氏邦が、現在の荒川土手より北の位置に荒川の洪水に備えるための堤を築きました。「熊谷堤」と呼ばれたその堤には、後に桜の木が植樹され、江戸時代には桜の名所として名をはせました。現在、万平公園にその一部が残されています。



熊谷歴史物語

熊谷空襲と星川

終戦直前の昭和20年8月14日午後11時半頃、アメリカ軍による市街地への空襲によって、星川周辺を中心に多数の死者が出ました。戦後、星川は戦災慰霊碑などの彫刻通りとして知られ、夜の川沿いに多くの屋台がひしめきました。



熊谷歴史物語

中山道と熊谷宿

江戸の街と京の都をつなぐ中山道。日本橋から京都・三条大橋まで69宿の行程があり、8番目の宿場が熊谷宿です。江戸時代には、参勤交代を初め多くの人々が行き交い、交通の要衝として栄えました。



Central area around Kumagaya Station

Kumagaya city is the central area of 200 thousand populations where various city functions gather. Centrally located Kumagaya Station connects with the Shinkansen line, Takasaki line and Chichibu railway. On the right side, there is National Route 17, the city hall and the central park, and on the left far side of the station, there are the Arakawa River and Arakawa Ohashi Bridge. You can see that in Kumagaya city, recreation areas for citizens and the urban district lie side by side.

展望以熊谷车站为中心的市街城区
集約了各种各样城市功能的二十万都市的中核地区。位于中央的熊谷车站，是新干线、高崎线、秩父铁道的交汇点。右手边是国道十七号线、市政府、中央公园，左手边是荒川和荒川大桥。市民的休憩场所紧邻市中心一目了然。

熊谷歴史物語

奈良・吉田家

奈良地区の名士、吉田家は代々「市右衛門」を名乗り、江戸時代のはじめから明治時代にかけて、社会事業家として活躍しました。近隣の村々、遠方の地域まで慈善事業や土木工事を手がけ、多くの人々から尊敬を集めていました。



[久下橋付近から北西を望む]

画面左上から右下に続くのはJR上越・北陸新幹線。中央を縦断するJR高崎線や、右手上方には国道17号バイパスも見て取れます。水と緑の豊かさが手に取るように分かる荒川には、手前から久下橋、荒川大橋、熊谷大橋がかかっています。



熊谷工業団地

熊谷文化創造館
さくらめいと

籠原駅

別府沼公園

熊谷さくら運動公園

熊谷貨物
ターミナル

国道140号

熊谷大橋

荒川大麻生公園

荒川大橋

荒川

市役所

熊谷駅

国道17号

秩父鉄道

ついで橋

熊谷スポーツ文化公園

国道17号バイパス

熊谷歴史物語

三尻観音山

三ヶ尻地区に位置する観音山。孤立した丘陵地で四季折々の花が楽しめます。山内には龍泉寺があり、江戸時代には、日本を代表する画家・思想家の渡辺華山が訪れ、さまざまな作品や逸話を残しています。



熊谷歴史物語

成田氏の足跡

映画「のぼうの城」で知られる成田氏。室町時代まで成田氏の本拠地は熊谷の上之地区にあり、現在も成田氏館跡が残されています。龍淵寺や上之村神社など、成田氏に関係のある史跡から歴史を感じることができます。



熊谷歴史物語

中山道と新川

中山道の経路は久下地区の長土手の上にあったとされています。そこから眺める富士山の姿は、多くの旅人の目を楽ませたそう。江戸時代、土手の南側にあった新川村には、舟の荷物の積み下ろしをする河岸があり、繁栄していました。



Looking toward the North West from a place near the Kuge bridge

The structure which runs from the upper left to lower right in the picture is the elevated bridge over the JR Jyoetsu and Hokuriku Shinkansen line. The JR Takasaki line which travels down through the center of the city is also able to be seen. Over the Arakawa River which shows the richness of water and plants photographically, the Kuge Bridge, Arakawa Ohashi Bridge and Kumagaya Ohashi Bridge are built from the lower river side.

从久下桥附近向西北望去

从画面左上方一直延续到右下方的是JR上越・北陆新干线的高架铁路，也可以看见画面中纵贯中央的JR高崎线。丰富的水资源与绿色显而易见的荒川上，从近到远依次架着久下桥、荒川大桥、熊谷大桥。

久下橋

[大里地域から北西を望む]

中央には大里地域の田園が広がり、田畑の間を流れる和田吉野川や荒川(右上方)も見て取れます。また、左上に見える武蔵丘陵地を抱えた江南地域は、自然豊かな武蔵野の面影を残し、のどかな里山の風景が広がります。



平山家住宅

江南地域の榑春地区にある平山家住宅は、江戸中期に建てられた農家住宅で、国重要文化財に指定されています。建物は、東西方向の幅17.4m、北方向の幅11.9mの入母屋造と呼ばれる構造で、厚みのある茅葺の屋根が特徴です。現在では室内でお茶会やコンサートが開催されています。

熊谷歴史物語



熊谷歴史物語

踊る埴輪の里

1930年、江南地域の野原古墳群の中から2体の「踊る男女」の埴輪が発見されました。現在は東京国立博物館に所蔵され、その特徴的なポーズから日本を代表する埴輪として知られています。

熊谷歴史物語

日本最古銘の板碑

江南地域では、1227年の日本最古銘の板石塔婆のほか、日本屈指の古さを誇る板碑が発見されています。この板碑は、緑泥片岩と呼ばれる石質で、阿弥陀三尊などが彫られています。当時の信仰を今に伝える貴重な資料です。



熊谷歴史物語

荒川の氾濫

荒川右岸側の大里地域は、かつて荒川の氾濫被害を受けた地域。現在も残る「切れ所」や「中の淵」と呼ばれる池も、洪水によって形づくられたものです。各家では敷地内に高台の水塚を設営したり、退避用の小舟を備えたりしていました。



熊谷歴史物語

鎌倉街道支道と根岸家

大里青山から熊谷宿まで、鎌倉街道の支道が続いていたといわれます。青山には豪農の根岸家があり、幕末から明治にかけて当主の根岸友山と武香(たけか)の父子が活躍。政治や文化振興の分野で、全国的に知られたる存在となりました。



Looking toward the North West from the Osato district

In the center, the rural countryside of the Osato district spreads, and the Wadayoshinogawa River and Aarakawa River (upper right) are also seen running between farm lands. The Konan district which embraces the Musashino hill zone which is seen in the upper left still retains remnants of Musashino fields which had abundant nature, and the pastoral landscape of Satoyama (village forest) spreads.

从大里地区向西北望去

中局は大里地区広闊の田園、还能看见流淌在田间的和田吉野川和荒川(右上方)。另外，左上方可见拥有武蔵丘陵の江南地区，它保留了武蔵野自然丰富的面影、闲静的山乡景色广阔无尽。

熊谷歴史物語

能護寺

743年に行基上人が開山し、弘法大師空海が再建したと伝えられる能護寺は、県内有数の名刹として知られています。狩野派の流れをくむ絵師たちが描いた「能護寺内陣格天井の絵画」や「梵鐘」など貴重な文化財や歴史遺産を保存継承しています。



国道407号

道の駅めめま

妻沼西部工業団地

妻沼運動公園

妻沼庁舎(妻沼行政センター)

妻沼聖天山

刃水橋

〔妻沼地域から西を望む〕

雄大な利根川の流れに沿って田園地帯が広がる妻沼地域。川沿いには、妻沼グライダー滑空場や総合運動公園も見えます。また、上方にあるのは妻沼聖天山。妻沼地域は聖天さまの門前町としても発展し、独特の文化をはぐくんできました。



熊谷歴史物語

妻沼聖天山

平安時代末期に斎藤別当実盛公が開創した妻沼聖天山。古くから、民衆信仰のよりのところとなっています。本殿の「歓喜院聖天堂」は、1760年に再建され、平成の大修理を経て、国宝に指定されています。



福川

熊谷歴史物語

大我井神社

1869年、聖天宮から神仏分離し建造された神社。妻沼小学校の南側に位置し、中門の唐門や本殿建築からは落ち着いた風情を感じることができます。本殿西側には富士塚があり、秋には火祭りが催されます。



利根川総合運動公園

熊谷歴史物語

荻野吟子生誕の地

1851年に妻沼地域の旧俵瀬村で誕生した荻野吟子。日本初の公許女医として女性が社会で活躍する道を切り開きました。生誕の地には記念館が置かれ、吟子の業績を紹介しています。



妻沼グライダー滑空場

利根川

熊谷歴史物語

利根川河岸

妻沼地域は古くから利根川の洪水被害を受ける一方、船運交通の恩恵を受けてきました。江戸後期以後、葛和田河岸は渡船場として大きく発展。葛和田(赤岩)の渡し船は、現在も地域の交通機関として利用されています。



葛和田渡船場

Looking toward the Menuma district from the West

The Menuma district, in which the countryside spreads along the grandly flowing Tonegawa River. Along the river, the Menuma glider airport and the general sports park are located. At the upper part, the Menuma Shodenzan Kangiin Temple is located. The Menuma district has developed as a temple city of the Shodenzan temple.

从西边遥望妻沼地区

妻沼地区是沿着雄壮的利根川扩展开来的田园地带。沿岸可见妻沼滑翔机飞行场和综合运动公园。另外，画面上方是妻沼圣天山欢喜院。妻沼地区也作为佛教守护神的圣天(沿神社和寺院的参拜路发展起来的经济街区)发展起来。

交通の利便性

埼玉県北部地域の中心的都市として、暮らしやすく、魅力あるまちを目指す熊谷市。新幹線をはじめとする鉄道、路線バス、タクシーなどの公共交通機関と、国道17号、国道17号バイパスのほか3本の国道が走る道路インフラにより、交通の利便性は高水準です。これからも道路環境の改善等を行い、誰もが安全・快適に移動できる環境・交通体系を構築していきます。

Transportation convenience

Kumagaya city pursues developing into a central core city of Saitama's north area and to be an environmentally friendly, comfortable place to live and attractive city. As for transportation convenience, public transportation systems such as the Shinkansen and several railways are present, and five National Routes including NR.17, and the NR.17 bypass are used. Thus the transportation infrastructures are developed to a high level.

便利的交通

作为埼玉县北部地区的中心城市，熊谷市以宜居于环境、易于生活、富有魅力为目标。在交通便捷性上，以新干线为首的铁路等公共交通机关很完善，同时有国道十七号、国道十七号千线等三条国道贯穿城市，道路的基础建设也完善到很高水准。



熊谷駅



龍原駅



市内を循環するゆうゆうバスは、さくら号、グライダー号、ムサントミヨ号、ひまわり号、ぼたる号、直実号の6系統で運行しています。



国道17号



暑さ対策

全国5,000以上の企業・行政・民間団体が参加する「ひと涼みアワード」で「トップランナー賞」を受賞しています。



踊る埴輪

リズムをとって踊っているように見えるこの埴輪。特徴的な人物埴輪として東京国立博物館で常設展示されています。



熊谷市の

オンラインランキング

1



妻沼聖天山

日本三大聖天の一つに名を連ね、平成24年に「歓喜院聖天堂」が国宝に指定されました。



熊谷うちわ祭

その絢爛豪華さから「関東一の祇園」と称されています。



熊谷染

埼玉県伝統工芸品に指定されている熊谷染。「小紋」と「友禅」の技法があり、独特の色彩が醸しだされています。



荻野吟子

日本公許登録女医第1号。明治時代に困難を乗り越え、医術開業試験に合格しました。



熊谷次郎直実

源平合戦で活躍し、源頼朝から日本一の剛の者と称えられたとされます。



快晴日数

平成26年の年間快晴日数は70日で、2位の静岡市・宮崎市の59日を大きく上回っています。



妻沼グライダー滑空場

全国約60校の大学生が飛行訓練に励み、グライダー滑空時間・飛行数は日本一です。



ムサントミヨ



世界で唯一熊谷市に生息する魚。市内3小・中学校では増殖活動も行われています。

国内に所在する板石塔婆の中で最古の紀年銘(1227年)が確認されています。



嘉禄三年銘板石塔婆